

(案)

青森県公共事業事後評価に関する意見

(平成 23 年 11 月)

青森県公共事業再評価等審議委員会

目 次

- 1 平成 23 年度公共事業事後評価対象事業に係る
県の評価結果に対する委員会意見 1

- 2 青森県公共事業再評価等審議委員会委員名簿・審議経過 3

平成23年度公共事業事後評価対象事業に係る県の評価結果に対する委員会意見（案）

当委員会は、平成18年度に完了した100事業（農林水産部46、県土整備部54）の中から、以下の4事業について審議した。

<選定理由>

- ・事業効果等に必要と判断する事業（1番、2番）
- ・再評価時の附帯意見に対する対応状況を確認する観点から該当する事業（3番）
- ・当初計画と実績との差が大きく、同種事業の計画・調査の在り方等に反映させる必要があると判断する事業（4番）

1 個別事業に係る委員会意見

番号	事業名 箇所名等 (市町村名)	全体事業費 (千円) 工期	県の評価結果（概要）	公共事業再評価等審議委員会意見
1	緊急農地集積 ほ場整備事業 増館 (青森市、藤 崎町)	1,343,000 H11～H18	<p>(事業効果の発現状況等) 本事業の実施により、転作作物の導入による作物生産量の増加、水稻生産コストの節減、水稻栽培労働時間の短縮、担い手への農地集積等の効果の発現が確認された。</p> <p>(改善措置・再度の事後評価の必要性) アンケート結果に基づき、必要な改善措置について関係土地改良区が対応することとし、全体としては事業目的が達成されていることから再度の事後評価の必要性は認められない。</p> <p>(同種事業の計画・調査の在り方等) 今後の同種事業の計画・調査の在り方等については、県が進める「環境公共」の方向性に沿って、地域住民が参加する「地区環境公共推進協議会」により計画内容や環境保全の方法等について話し合いを強化していく。また、地域の生態系調査や周辺環境調査を行い、環境保全の方法を事業内容に反映させる必要がある。</p>	<p>県の評価結果については概ね異論がない。 ただし、本事業が持つ農地の環境保全効果など、受益者だけでなく地域に与える効果についても調査・分析を行い、事業の効果を幅広く検証し、地域住民の事業に関する理解を促進させるとともに、同種の事業に反映させていくことを期待する。</p>
2	ため池等整備 事業 サビシロ沼 (つがる市)	159,000 H12～H18	<p>(事業効果の発現状況等) 本事業の実施により、ため池決壊による農地被害・農業用施設被害等の災害防止、維持管理費節減等の効果の発現が確認された。</p> <p>(改善措置・再度の事後評価の必要性) アンケート結果に基づき、必要な改善措置について関係土地改良区が対応することとし、全体としては事業目的が達成されていることから再度の事後評価の必要性は認められない。</p> <p>(同種事業の計画・調査の在り方等) 今後の同種事業の計画・調査の在り方等については、事業実施地域に自生する在来種の保全など地域住民等と十分に話し合い、必要に応じて学識経験者の意見を求め検討する必要がある。また、整備した施設が継続して効果を発揮できるように適正な維持管理に努めるとともに、地域住民の防災に対する意識の高まりをうけ、地域のニーズに的確に応えられるよう、老朽化した施設の把握に努め、適切な対策を講じていく必要がある。</p>	<p>県の評価結果については概ね異論がない。 ただし、本事業が持つため池の環境保全効果など、受益者だけでなく地域に与える効果についても調査・分析を行い、事業の効果を幅広く検証し、地域住民の事業に関する理解を促進させるとともに、同種の事業に反映させていくことを期待する。</p>

番号	事業名 箇所名等 (市町村名)	全体事業費 (千円) 工期	県の評価結果(概要)	公共事業再評価等審議委員会意見
3	漁港環境整備 事業 大畑漁港 (むつ市)	1,484,920 H7~H18	<p>(事業効果の発現状況等) 本事業の実施により、労働環境改善、漁港周辺での消費活動機会の増加、周辺家屋等の維持管理費削減、住民交流の場の創出等の効果の発現が確認された。</p> <p>(改善措置・再度の事後評価の必要性) アンケート結果に基づき必要な改善措置を講じ、経過等を確認していく必要はあるものの、全体としては事業目的が達成されていることから再度の事後評価の必要性は認められない。</p> <p>(同種事業の計画・調査の在り方等) 今後の同種事業の計画・調査の在り方等については、継続して施設が利用されるよう利用促進の取り組みを計画に反映させるとともに、早期に効果が発現されるよう短期間での整備を念頭において整備計画が必要である。</p> <p>また、事業着手段階から継続して施設利用に向けたPR活動、モニタリングを行い、施設の認知度や利便性の向上に努めるとともに、整備内容については施設利用が限定的にならないよう、ワークショップにより幅広い視点から検討する必要がある。</p>	<p>県の評価結果については概ね異論がない。 ただし、本事業により整備した施設がより一層活用されるよう、県として地元自治体に対し働きかけるとともに、県と地元自治体が連携して積極的に利用促進に取り組むことを期待する。</p>
4	3・3・3号下白 銀町福村線道 路改築事業 和徳～松ヶ枝 (弘前市)	11,826,070 H2~H18	<p>(事業効果の発現状況等) 本事業の実施により、バイパス整備による交通の円滑化、歩行者等の安全確保等の効果の発現が確認された。</p> <p>(改善措置・再度の事後評価の必要性) アンケート結果に基づき必要な改善措置を講じ、経過等を確認していく必要はあるものの、全体としては事業目的が達成されていることから再度の事後評価の必要性は認められない。</p> <p>(同種事業の計画・調査の在り方等) 今後の同種事業の計画・調査の在り方等については、事業費が当初計画から大幅に増加しないように現地状況をきめ細かく調査し、類似路線の実績・事例を参考に計画策定するとともに、予備調査段階から関係機関と綿密な協議・調整を行い適切な工法・工程を策定する必要がある。また、更なる整備効果発現のため、接続する未整備区間を効率的かつ重点的に整備していくことが必要である。</p>	<p>県の評価結果については異論がない。</p>

2 全般的事項に係る委員会意見

青森県公共事業再評価等審議委員会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
委 員	東 信 行	弘前大学 農学生命科学部 准教授
委 員	岡 田 秀 二	岩手大学 農学部 教授
委 員	木 立 力	青森公立大学 経営経済学部 教授
委 員 長	小 林 裕 志	北里大学 名誉教授
委 員	齊 藤 サツ子	公募
委 員	武 山 泰	八戸工業大学 工学部 教授
委 員	中 山 佳	五所川原商工会議所 青年部 副会長
委 員	長 野 章	公立はこだて未来大学 名誉教授
委 員	長 谷 川 明	八戸工業大学 工学部 教授
委 員	藤 田 均	青森大学大学院 環境科学研究科 教授
委 員	松 富 英 夫	秋田大学 工学資源学部 教授

(11名)

(敬称略・五十音順)

青森県公共事業再評価等審議委員会 審議経過

第1回 平成23年5月9日(月)

- 平成22年度公共事業再評価対象事業に係る附帯意見への対応状況の説明
- 平成23年度公共事業再評価等審議委員会スケジュールの説明
- 平成23年度事後評価対象事業の変更〔1地区(減)〕
- 平成23年度公共事業再評価対象事業に係る県の対応方針(案)の説明〔29地区〕
- 河川総合開発事業(駒込ダム、奥戸生活貯水池)に係る審議

第2回 平成23年6月26日(日)

- 詳細審議地区の選定〔9地区〕
- 詳細審議地区の審議
- 現地調査地区の選定
- 詳細審議地区以外の地区の県対応方針(案)への委員会意見決定〔20地区〕

第3回 平成23年8月29日(月)

- 現地調査
水産流通基盤整備事業(白糠) 関係施設(東通村、六ヶ所村)
- 地元関係者からの意見聴取
- 上記地区の審議

第4回 平成23年10月16日(日)

- 詳細審議地区の審議、詳細審議地区の県対応方針(案)への委員会意見決定〔9地区〕
- 再評価に関する意見書の取りまとめ
- 平成23年度事後評価結果の説明〔4地区〕
- 事後評価結果に係る審議〔4地区〕
- 平成24年度事後評価対象箇所を選定〔4地区〕

第5回 平成23年10月29日(土)

- 再評価に関する意見書の取りまとめ
- 事後評価結果に係る審議
- 事後評価に関する意見書の取りまとめ